

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	21	課題区分	C		
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興						
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	南信州シードル振興事業				電話	内線 2264	
				E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	南信州産リンゴを使用した”南信州シードル”のブランディングの要件やPRの方法について、他県の状況や大手酒販メーカーの考え方を聞き取り、当地域のシードル振興について研究する。					
	現状と課題	<p>本事業は、しあわせ信州創造プラン3.0南信州地域計画の地域重点施策、地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興に基づき、南信州シードルのブランド化を進め、シードル産地としての認知度向上等と取組を支援する事業である。</p> <p>南信州産リンゴを使用したシードル振興については、現在、NPO国際りんご・シードル振興会や南信州シードル協議会により、シードルをPRする取組が進められているが、令和5年9月に開催された、イベント「セブテンバーシードルフェス」においても・南信州シードルコレクション 来場者145名 ・シードルBYO 飲食店9組 酒販店 37本 とまだ地元への認知度も低く、PRの成果が出ていない。</p> <p>そのような状況の中、NPO国際りんご・シードル振興会では、南信州のリンゴを使用したシードルについて「南信州シードル」と称してブランディングを進める計画がある。</p> <p>日本国内においてシードル発祥の地とされている青森県弘前市では、約10の醸造所で作られたシードルが様々なイベント、販路拡大の手法等により広く周知されている。また、大手飲料メーカーからは地元の名称を付けたシードルが販売されている。</p> <p>南信州のシードル認知度向上のため醸造所にシードル市場の動向および地域ブランドに対する考え方を、また、弘前の行政機関に行政としての取組方を、関係団体等にPR方法や認知度向上の手法についてお聞きする。</p>					
要等	内容 (変更後の内容)	<p>・弘前市のシードル振興について行政、シードル関係団体、醸造所等と意見交換を行い、行政としてのかかわり方や、関係団体や醸造所が行うPRの方法や地域で取り組む手法などをお聞きし、南信州のシードルの目指す方向性を検討する。</p> <p>・調査結果は、NPO国際りんご・シードル振興会等で報告し、南信州のシードル振興の方向性について検討する一助とする。</p> <p>上記事業により以下の効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO国際りんご・シードル振興会等への南信州シードルブランドの目指す方向性についての提案</li> <li>・南信州シードルのPR方法、販路拡大、研究分析等について、情報収集</li> <li>・日本シードル発祥の地とのコラボレーション等新たなシナジー効果の創造</li> </ul> <p>視察日程 令和6年2月7日～9日 参加者 商工観光課(4名) 視察先 行政機関、関係団体、醸造所</p>					
事業期間	令和6年2月		～		令和6年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考			
	青森県弘前市及び弘前シードル関係団体の視察	職員旅費	255,410	4名分(商工観光課職員) 宿泊費、日当、交通費			
		シードル購入費	73,892	視察先配布分:51,122円 報告使用分:22,770円			
	合計		329,302				
指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況			
	管内シードル関係団体へ情報提供及び南信州シードルブランドの方向性提案	情報提供及び提案会の参加人数10人以上	情報提供有り 提案会、次年度持越し	一部達成			

事業実績・成果	<p>【実績】青森県弘前市農林部リンゴ課、地方独立行政法人 青森県産業技術センター、弘前シードル協会(弘前シードル工房kimori)、あおもりリンゴ酒推進協議会(株式会社JR東日本青森商業開発)を視察し、行政・シードル醸造所・支援機関・シードル団体等と意見交換を行った。</p> <p>※提案会については、令和6年2月の視察だったこと及びシードル団体の会議予定等から、令和6年5月開催に開催する。</p> <p>【成果】</p> <p>各団体の取組内容や行政としての関わり方、弘前シードルのPR方法および今後の展開等について情報収集することができた。</p> <p>意見交換の内容(聞き取り内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前市が弘前シードル研究会を立ち上げた経緯及び、昨年度の支援内容について。</li> <li>・行政主体の弘前シードル研究会から、生産者等が主体の弘前シードル協会に組織変更を行った経過について</li> <li>・各支援団体の支援内容について。また、関係団体の開催したイベントについて。</li> </ul> <p>青森県の各種団体との関係構築できた。</p>
今後の方向性	<p>本視察で得た弘前シードルの情報を南信州管内のシードル関連団体へ還元することで、シードル関連団体が南信州シードルの方向性を検討する一助とする。</p> <p>その他、南信州シードルの品質向上等に活すため、視察先が試飲した南信州シードルの感想等を情報提供する。</p> <p>令和6年5月23日に開催される、NPO国際りんご・シードル振興会(会員数約40名)において、視察の結果を発表する。</p>